

2022年度 自閉症セミナー

共生社会の実現を目指した 自閉症支援を考える

～自閉症支援のコアスキルを学ぶことから～

私たちの国で最初に自閉症の症例報告が発表されてから70年が経過しました。比較的初期に脳の発達に障害が存在する、周囲の環境とのミスマッチで行動障害が顕著な症例が多い、高学歴あるいは社会・経済的に成功している人も多数存在する、自閉症よりASDと呼ばれることが多くなるなど、長年の自閉症研究の成果が、福祉・教育・療育分野における自閉症支援のあり方も変えてきました。

本セミナーは、知的障害のある自閉症の人を主に取り上げ、障害福祉や特別支援教育分野で必要となるコアスキルをこれから学び、習得したい人の道案内を行うことを目指し企画しています。自閉症支援のコアスキルは、実際に支援の現場で自閉症の人と継続的に触れ合うことでしか身につけません。しかし、適切な知識を知り、目指す方向を知らずに、経験則に依存してはいつまでたってもコアスキルに至りません。さらに、自閉症の人の成長に期待することと、私たち社会の多数派が自閉症の人に合わせて歩み寄ることとをミックスすることも求められます。

共生社会の実現を目指す現在、私たちは自閉症支援をどのように学んでいく必要があるかを、全国で活躍する講師陣と一緒に学びましょう。

日時

2022年9月10日(土)～11日(日)

10:00～16:00

10:00～15:40

場所

北とぴあ(東京都北区王子1丁目11-1)
ペガサスホール 他

【セミナーサイト】

定員

100名



研修内容が
リニューアルしました!

※2日間のセミナーとなります。

9月10日(土)

- ◆自閉症支援を学び続ける長い旅路-自らのキャリアを振り返り-
講師：日詰正文(国立のぞみの園)・志賀利一(横浜やまびこの里)
- ◆自閉症支援の事例紹介
講師：
- ◆グループワーク1：自己紹介と自閉症支援の課題(意見交換)
- ◆講義と演習の説明：違いを認めることから始まる
- ◆グループワーク2：障害特性を学んでいくには(意見交換)
- ◆グループワーク2のまとめ

9月11日(日)

- ◆グループワーク3：コミュニケーション機能を学ぶ(意見交換)
- ◆グループワーク3のまとめ
- ◆自閉症支援の事例紹介
講師：
- ◆自閉症支援の事例紹介
講師：
- ◆グループワーク3：自閉症の人に歩み寄る支援とは(これからやるべきこと)
- ◆グループ発表：2グループ単位で互いに7分発表・質疑3分
- ◆講師からの講評 → 学びの教材紹介

志賀利一 氏



日本発達障害連盟 常務理事
(社福) 横浜やまびこの里相談支援部長

【著書 (最新)】

知的障害・発達障害のための新・見てわかるビジネスマナー集
(ジ・アース教育新社)

【メッセージ】

自閉症の人の特徴に、暗黙の学習の難しさがあります。多くの人が自然に覚えてしまう行動も計画的な学習プログラムが必要だと言われます。自閉症支援に携わる私たちも、暗黙の学習の難しさを持っています。

日詰正文 氏



日本発達障害連盟 理事
(独) 国立重度知的障害者総合施設
のぞみの園総務企画局研究部部長

【著書 (最新)】

対話から始める脱！強度行動障害
(日本評論社)

【メッセージ】

「迷子になったら入口に戻る」と、今朝の朝ドラで登場人物が語っていました。自閉症支援の確かな入口を、参加者が一緒に確認できるような研修にしたいと思っています。

縄岡好晴 氏



明星大学人文学部
福祉実践学科 助教

【著書 (最新)】

自閉スペクトラム症のある子の「できる」をかなえる！構造化のための支援ツール
集団編、個別編 (明治図書出版)

【メッセージ】

大学に着任する前は、自閉スペクトラム症児・者の支援を15年ほど取り組んでおりました。皆さまと一緒に学ばせて頂けること楽しみにしております。

宮崎義成 氏



NPO 法人 あおぞら
発達障害児者支援室 室長

【メッセージ】

自閉症の方と関わる中で、支援者側の様々な課題に気づかされます。いかに実態把握や環境面へのアプローチがなされているか、いかに職員間で情報共有できているか…。今一度、自閉症支援のコアとなる知識や技術を皆さんと共に学び、深く考えたいと思います。

種村祐太 氏



NPO 法人 発達障害サポートセンター
ピュア 施設長

【メッセージ】

大学一回生の頃から当法人で、幼児期から成人期の発達障害の方々と関わらせていただき、コミュニケーションスキルやライフスキルのサポートを行っています。今回の研修を通して、皆様と学びを深めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

【セミナー申込方法】

◆インターネット

<http://www.jlidd.jp/seminar/>

◆郵送・FAX

下記申込書に必要事項を記入し、お問合せ先にある住所へ郵送またはFAXでお申込みください。

◆同封の郵便振替用紙での申込

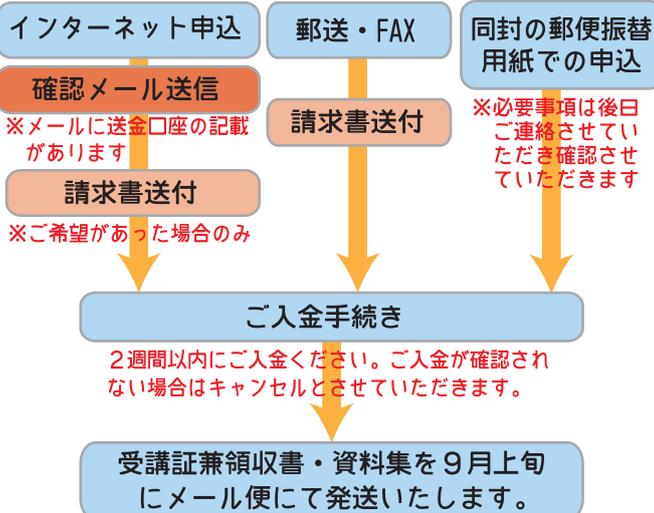
【セミナー受講料】

一般：17,000円

賛助会員：15,300円

※構成団体の賛助会員とは別となりますのでご注意ください。

お申込みからの流れ



※参加される方の理由によるキャンセルにつきまして、ご入金後の払い戻しはできかねますので予めご了承ください。お申し込みの取り消しはできませんが、代理の方の出席は可能です。

【問合せ先】(公社) 日本発達障害連盟 セミナー担当
申込書郵送先：〒114-0015 東京都北区中里 1-9-10-402
電話：03-5814-0391 FAX：03-5814-0393
E-mail：seminar22@jldd.jp

【自閉症セミナー申込書】

※グループ分けに必要な情報となりますので必ず全てご記入ください。

参加者名 (ふりがな)		
ご所属		
職務・ 経験年数	職務 (例：支援員・相談員等)	経験年数 年
ご住所 (請求書等郵送先) 〒		
お電話番号		
法人申込の場合ご担当者様名 ()		
請求書・領収書発行の有無 (□郵送希望・□メール添付希望)		
請求書 / 領収書 / 請求書・領収書共 ※必要なものを○で囲ってください。		
請求書宛名		
送付メールアドレス		